

施政方針2016

まちづくりの

大きな

芽を

木へ

中逸町政の新しいまちづくりがスタート。

「住みたい・住んでよかった」と思える  
まちを目指して取り組んだ2期目の中逸  
町政。

任期4年間の最後となる今年は、小さな  
芽を大きな木に育てる大切な年です。

新たな芽が息吹き始めた長洲町に、大き  
な木を育てるため、町民一体となってま  
ちづくりに取り組んでいきましょう。

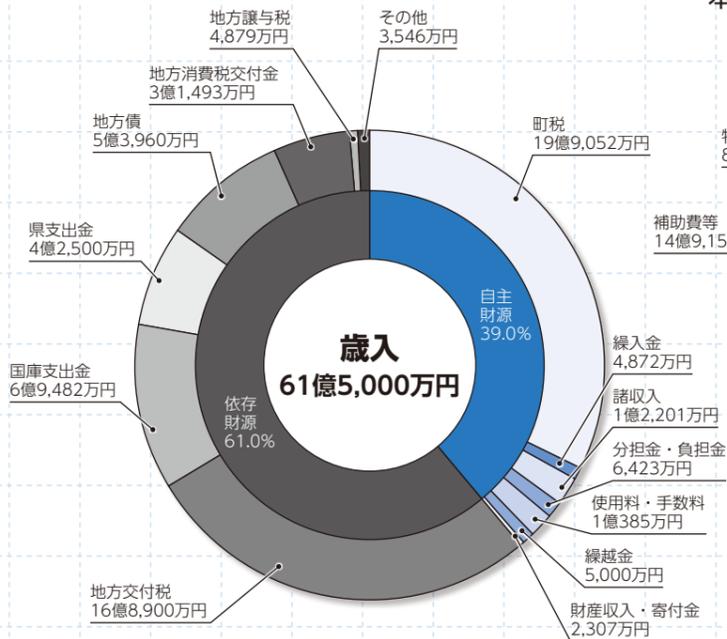
# まちのお金の使い道 (2016予算)

平成28年度の当初予算が3月町議会で可決されました。特別会計を含めた全会計の予算規模は、総額125億円となります。

予算総額  
**125億円**

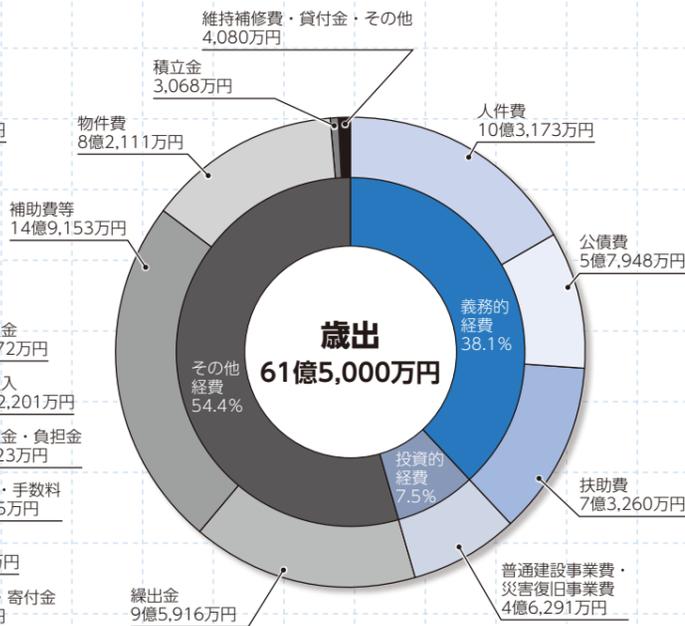
## 歳入 Revenue

歳入の根幹をなす町税は、大手企業の決算状況、法人税割の引き下げの影響により、前年度比0.6%減の19億9,052万円となっています。また、同じく大きな割合を占める地方交付税は、6.1%減の16億8,900万円となっています。



## 歳出 Budget spending

小中学校普通教室エアコン設置事業、幼児英語教育事業、高齢者支援施設「げんきの館」を核とした介護予防事業、幹線道路整備事業、空家対策事業など「第5次長洲町総合振興計画」、「長洲町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標実現に向けた予算を計上しています。



## 特別会計

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	25億4,280万円	7.0%
介護保険特別会計	17億3,430万円	3.9%
後期高齢者医療特別会計	1億9,020万円	1.7%
公共下水道特別会計	15億4,700万円	△0.3%
浄化槽施設整備事業特別会計	1,550万円	3.3%
水道事業会計	収益的収支	2億5,363万円 4.0%
	資本的収支	8,963万円 △79.5%

特別会計とは、特定の収入を持って特定の支出に充てるような事業に対して、その支出と収入を明確にするために設けられるものをいいます。

平成28年度

# 施政方針

(抜粋)

「住みたい・住んでよかった」と思えるまちづくりに向けて

【任期4年の最終年度を迎えて】

わたしは、町長に就任して以来、財政の健全化を図りながら、長洲町が夢と希望と活力あふれる町となるように取り組んでまいりました。その結果、最大の懸念事項でありました公共下水道特別会計の赤字解消をはじめ、社会資本の整備や介護予防拠点施設を活用した福祉のまちづくりなど、町民の皆様のご意見を伺いながら、さまざまな事業を実施することができました。

洲町の発展に向け、町民の皆さんのご意見やご要望をお聞きしながら、町の地域資源を最大限に生かした地方創生に向けて取り組んでまいります。

【社会保障費の伸びが財政に影響】

現在の社会情勢に目を向けます。現と、安倍内閣によるアベノミクス効果が少しずつ地方にも現れはじめ、有効求人倍率も改善傾向が見えつつあります。しかしながら、中国経済の急速な減速や世界的な原油安、米国の利上げなどによる株式市場の変動により、不透明感が増し、日本や世界を取り巻く経済状況は、依然として厳しい状況にあります。

先般、国の一般会計予算として、過去最大の予算規模となる96兆7200億円が計上され、経済再

生と財政健全化を推進するための予算が示されました。今回の国家予算につきましては、安倍内閣が新たに掲げる「一億総活躍社会」の実現に向けて、地方創生の本格展開や子育て、介護などの社会保障の充実に重点をおいた予算配分となっております。

長洲町におきましては、社会保障費の増加による厳しい財政運営の中、国の事業や施策に基づきながら、第5次長洲町総合振興計画ならびに長洲町まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って、予算編成を行ったところであります。

【町政運営に全身全霊を込めて】

長年の課題でありました下水道特別会計の赤字は解消されたものの、人口減少や少子高齢化、社会資本の整備、財政問題など、課

【施政方針】  
しせいほうしん  
【意味】  
政治を行うときの方向。政治の目的・方法・理念

題は多く残っており、その対応が求められているところであります。しかしながら、このような状況下ではありますが、平成28年度は、これまで取り組んでまいりました芽を大きな木にするための年として、地方創生に取り組むとともに、定住促進に向けた事業を展開し、町民の皆さんが「住みたい・住んで良かった」と思えるよう、全身全霊で町政運営に取り組んでまいります。



# 主要事業

## Chapter 01 未来を拓く人づくりを 目指す夢のあるまち

○小中学校エアコン等整備事業  
1億991万円  
(学校教育課)

各小中学校へのエアコンの整備などを行うことで、子どもたちに快適な学習環境を提供し、学力の向上を図ります。

○幼児英語教育導入事業  
600万円  
(子育て支援課)

町内の幼稚園・保育所に英語指導者を派遣し、子どもたちが幼少期から楽しんで英語へ触れ親しむことで、幼少期からの充実した英語教育を図ります。

○長洲寺子屋学習支援事業  
62万円  
(学校教育課)

地域の介護予防拠点施設を活用して学習支援を行うことで、子どもたちが生活環境に関係なく平等に教育が受けられる体制を創ります。

○長洲ふるさと塾事業  
80万円  
(学校教育課)

長洲町の地域特有の豊かな自然を生かして、「学ぶ」「遊ぶ」「育む」をテーマに「社会体験」、「自然体験」などの活動を行います。

○「夢の教室」事業(小中学校)  
182万円  
(学校教育課)

元プロサッカー選手やオリリンピック選手などを招き、子どもたちが夢を持つことや仲間を持つ大切さを学びます。

○外国青年誘致事業  
1082万円  
(学校教育課)

ALT(外国語指導助手)を2人配置することで、子どもたちの国際理解を深め、ネイティブスピーカーとしての英語力向上を図ります。

○高齢者支援施設管理事業  
291万円  
(福祉保健介護課)

上沖洲保育所跡地に高齢者支援施設「げんきの館」を整備し、高齢者の日常生活の支援を行います。

○有償ボランティア事業  
400万円  
(福祉保健介護課)

高齢者や障がい者の皆さんの生活でのちょっとした困りごとに対応して、地域ボランティアが基本的な生活支援などを行います。

○後期高齢者歯科口腔健康診査事業  
49万円  
(福祉保健介護課)

後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎を防ぐため、口腔機能をチェックする歯科検診を行います。

## Chapter 02 人と人が 支え合う 希望のあるまち

## 今年度、町が取り組んでいく 主な事業を紹介します。

マークは、ことし新しく取り組む事業を表しています

## Chapter 02 人と人が 支え合う 希望のあるまち

○保育所民営化検討事業  
10万円  
(子育て支援課)

町立保育所の民営化に向けた検討委員会を開催します。

○「子育て世代包括支援センター」整備事業  
442万円  
(子育て支援課)

母子保健や育児に関するさまざまな相談などへの対応をワンストップ化して、妊娠時から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行います。

○子ども医療費助成事業  
6493万円  
(子育て支援課)

中学生までの子どもにかかる医療費の一部を助成することで、子どもたちの健全な育成を図り、子育てへの支援を行います。

## Chapter 03 地域の資源を生かす活力のあるまち

○あさり貝漁獲高等向上支援事業  
857万円  
(農林水産課)

あさり貝の育成を図るため、福岡大学と連携し、有明海の水質改善やエイなどの有害生物の除去を行います。

○漁業への企業参入支援事業  
1000万円  
(農林水産課)

海苔養殖業へ参入する企業に対し、養殖や乾燥をするための施設整備の支援を行うことで、さらなる水産業の向上を図ります。

○金魚品種改良等支援事業  
124万円  
(農林水産課)

町養魚組合へ調査研究費用を支援することで、品種改良による新たな金魚の開発に取り組めます。

○若者を活かした町魅力向上事業  
1350万円  
(まちづくり課)

「金魚の館」にサテライトキャンペーンを整備することで、学生などが集まり、さまざまな研究や交流活動ができる場所を創ります。

○「金魚のえき」めぐり事業  
1570万円  
(まちづくり課)

ポイント制のアプリを開発、整備することで、町内の各店舗などを「金魚のえき」として周遊してもらえようにします。

○「金魚と鯉の郷広場」を核とした観光振興事業  
1410万円  
(まちづくり課)

「金魚の館」に商品販売ギャラリーを整備し、新たに駐車場の整備などを行うことで、さらに多くの人に来て、楽しんでもらえる施設をつくります。

○プレミアム商品券発行事業  
500万円  
(まちづくり課)

町商工会が発行するプレミアム商品券に対して、事業費の補助を行うことで、町内商工業のさらなる活性化を図ります。

○実践型地域雇用創造事業  
526万円  
(まちづくり課)

「長洲町地域雇用創造協議会」が、新たな商品の開発や町内商工業者への支援などに取り組むことで、町内での新たな雇用を創出します。

○金魚と鯉の郷広場屋外トイレ等改修事業  
2616万円  
(まちづくり課)

金魚と鯉の郷広場のトイレなどを改修することにより、町民や来訪者の憩いの空間を創ります。

Chapter 04 **安**  
心して生活できる  
安全のあるまち

○防犯灯整備事業（LED化）

261万円（総務課）

防犯灯をLEDに取り換える費用の一部補助や防犯灯の無い場所に新しく整備することで、安心安全な明るいまちを創ります。

○「防災マップ」更新事業

624万円（総務課）

熊本県が指定する土砂災害警戒や特別警戒区域を追加し、既存の防災マップを見直すことで、地域の皆さんの安心安全を守ります。

○消防ポンプ積載車等整備事業

1068万円（総務課）

消防団に配備する積載車および小型ポンプの更新を行うことで、火災などの災害に対して迅速な対応を図り、地域の安心安全を守ります。

Chapter 05 **快**  
適な暮らしができる  
安心のあるまち

○空家対策事業

866万円（まちづくり課）

危険空家判定や計画策定業務を委託し、危険空家、寄附空家の解体工事などに取り組むことで、安全な地域環境をつくりまします。

○きんぎょタクシー運行事業

1538万円（まちづくり課）

現在、2台で運行している「きんぎょタクシー」を1台増台し、町民の皆さんがさらに利用しやすい運行体制を創ります。

○町道等整備事業

5679万円（建設課）

長洲駅南側の道路整備をはじめ、安全かつ円滑な交通ができるように、計画的な道路整備を進めます。

○橋梁等整備事業

1800万円（建設課）

新山跨線橋の整備をはじめ、橋梁点検の結果をもとに計画的な補修を行うことで、安全に橋梁を利用できるようにします。

○長洲斎苑火葬炉整備事業

1975万円（住民環境課）

長洲斎苑火葬炉の老朽化に対する計画的な改修を行うことで、火葬業務に支障が出ないように適正な運用を図ります。

○生ごみ処理機・資源ごみ保管用施設設置事業

122万円（住民環境課）

家庭用の生ごみ処理機や各行政区への資源ごみ保管用施設の整備に対する補助を行うことで、ごみの減量化を図ります。

Chapter 06 **み**  
んなの力で未来へつなぐ  
協働のあるまち

○長洲町人材バンク制度事業

（総務課）

さまざまな分野の知識や技術を持つ人が登録し、学習活動や地域づくり活動などの場で講師や実技指導者として活躍できる体制をつくりまします。

○公共施設等総合管理計画策定事業

497万円（総務課）

老朽化した公共施設などを改修し、計画的に整備していくための計画策定を行います。

○長洲町地域創生推進事業

511万円（まちづくり課）

各行政区に対する支援を行うことで、それぞれの区が創意工夫に富んだ活動を行い、地域の活力創出に繋がります。